

新刊のご案内

2018年3月23日発売

ご注文は、書店、Amazon 等でお取り寄せいただくか、下記から直接ご注文ください。
創文企画 TEL : 03 - 6261 - 2855 <http://www.soubun-kikaku.co.jp>

スポーツの主人公を育てる 体育・保健の授業づくり —指導案の基本とプラン集—

学校体育研究同志会編

定価 (本体2,000円+税) B5判並製・本文212ページ ISBN978-4-86413-105-6

体育は何を教える教科か。

本書は、この問いに答えるために刊行されました。読者として想定しているのは、これから教員になる学生、及び、現職で活躍している先生方です。第1部では理論的な知識を、第2部では実践的な知識についてまとめています。これらの知識を学び、自分の頭で、冒頭の問いに答えられるようにしたい(なしてほしい)という期待をもって、本書は企画、刊行されました。

教師が、自分の頭で、子どもにとって必要な教育内容を考え実践する……。当たり前のこのように思われるかもしれませんが、果たして、そうでしょうか。

(本書「はじめに」より)



主な目次

第1部 学習指導案の書き方と原理

第1章 学習指導案をつくる

- 1 学習指導案とは何か(田中新治郎)
- 2 単元名の書き方—教科の背後にある文化的な特性と単元の関係—(丸山真司)
- 3 「単元のねらい」の考え方(黒川哲也)
- 4 教材とは何か(中瀬古 哲)
- 5 子どもの発達・生活課題と体育の関係(制野俊弘)
- 6 単元計画とその説明—技術指導の系統性—(則元志郎)
- 7 本時のねらい—共通の学習内容の仕組み方と考え方—(大貫耕一)
- 8 指導の方向—1時間の授業の考え方—(竹内 進)
- 9 体育授業の評価論(加登本 仁)

第2章 指導過程の考え方

- 1 発問—子どもの思考を刺激する「問い」とは—(石田智巳)
- 2 子どものつまずきとフィードバック(佐藤亮平)
- 3 学習の場の考え方と作り方(竹田唯史・近藤雄一郎)
- 4 子どもの学習集団について—異質協同の小集団学習—(玉腰和典)
- 5 子どもの学び合いを促す学習カードの原理(中西 匠)
- 6 学習規律の考え方(林 俊雄)

第3章 よりよい体育授業に向けて

- 1 子どもの体力とからだについて(續木智彦)
- 2 スポーツの主人公に必要な能力と学校体育の役割(森 敏生)
- 3 授業づくりからカリキュラムづくりへ(丸山真司)
- 4 授業、特別活動、課外活動の関連性(神谷 拓)
- 5 生きる力を育む保健の授業(平野和弘)
- 6 作文の書かせ方と読み方(矢部英寿)

第2部 学習指導案の実践プラン集

- 1 学習指導案と修正—マット運動・側方倒立回転指導案例—(田中新治郎)
- 2 単元のねらい(「できる」「わかる」「かかわる」の関係)—バレーボール指導案例—(黒川哲也)
- 3 教材について(教科内容と教材の「共通性」と「固有性」)—マット運動・集団マット指導案例—(中瀬古 哲)
- 4 子ども・生徒について(子どもの発達・生活課題と体育の関係)—陸上競技・短距離走指導案例—(制野俊弘)
- 5 単元計画と系統的指導(技術指導の系統性)—フラッグフットボール指導案例—(則元志郎)
- 6 本時のねらい(共通の学習内容の仕組み方)—ねこちゃん体操指導案例—(大貫耕一)
- 7 異質集団によるグループ学習—跳び箱運動指導案例—(玉腰和典)
- 8 発問(子どもの思考を刺激する「問い」)—陸上競技・幅跳び指導案例—(石田智巳)
- 9 子どものつまずきとフィードバック—走・跳の運動・障害走指導案例—(伊藤嘉人)
- 10 ルールづくり・学習の場づくり—ベースボール指導案例—(堀 和正)
- 11 指導の方向(教師行動・マネジメント・学級活動)—器械運動・鉄棒指導案例—(安武一雄)
- 12 子どもの体力とからだについて—一体づくり運動指導案例、表現運動・ダンス指導案例—(續木智彦・築田陽子)
- 13 体育授業の評価論—水泳運動指導案例—(加登本 仁)
- 14 保健の授業(権利としての健康)—保健指導案例—(平野和弘)

創文企画

〒101-0061 東京都千代田区三崎町3-10-16 田島ビル2F
TEL : 03 - 6261 - 2855 FAX : 03 - 6261 - 2856 <http://www.soubun-kikaku.co.jp>